

現状認識…疑問・課題など

フィールドについて～所有・利用・特性

- 市有地と私有地がある
- マラソン利用者が多い
- 「妙」「法」という神聖な場
- 南（松ヶ崎）側は急傾斜
- 植物・シカ・鳥・虫、様々な視点から宝が池を見て、新たな発見！

目線・認識の共有不足

- <社会状況>
- 地域にとっての宝が池公園の存在は？
 - なぜ、こんな状況になったか、こんなになるまで？ 区民のどれだけが知っているか？
 - 荒廃で影響を受けるのはだれ？
 - 行政は地元のことを知っている？ 消極さ
- <自然状況>
- ナラ枯れも進行・防除中。樹木の老齢化
 - シカが多すぎる。⇒植生の危機
 - 林床裸地化・地表面の攪乱が起きている。パッドランド化

捕獲(おり・なわ)の実施中 (市の委託)
防鹿柵設置に対する苦情あり(景観的)

★コントロールできるのか？

宝が池の問題は環境問題
生態系を考える

知ること・知ってもらうことが重要

現状・つながりを知る

シカ害・森林荒廃の現状

- <シカについて>
- 行動把握(昼・夜間・場所)
 - 現状(頭数・被害) ⇒生態系への影響
 - 多様な主体の意見・立場(愛護団体、地域の中での認知の差)
 - つきあい方、対応の方法(事例)

豊かな緑＝人の関わり

- <植生の変化>
- シイ林化による景観問題だけでない
 - 森の質の変化・植生の変化
 - 美しい植生景観を保つことの難しさ
 - ＝人と森の付き合い方の変化と森の変化
 - 生態系と自然のおもしろさ

身近な人々

- マラソン・ジョギング
- バードウォッチングの人の巻き込み

敷居を低く裾野を広げる

★人の関わり減⇒
老齢化・荒廃

★聞いてもらう工夫や機会が大切

- カフェ
- マップ
- グッズ

場所のつながり
施設のつながり

ソフトの運営拠点をつくる

★個人個人の取り組みから

組めそう・発展しそうなところを探す

- ★メンバーづくりと定着化
- ★ノウハウ連携の枠組み
- ★安定して活動ができる
- ★施設や管理主体との関係づくり

基礎知識や日常経験を豊かに

- ・自然のしくみ・おもしろさへの理解にもつなげる
- ・身近なことから考え始め森へとつながる生活に浸透していけるものに
- その場限りにしない環境学習

理論とフィールドとセットで

- ・生きた教材を使った取り組み
- ・五感に訴え体で覚える怖さも知る⇒子どもたちが気づく
- 植物・昆虫・野鳥…生態系の中の相関性を知る

共通認識

美しいまち＝美しい森

森林の価値・環境財

- ・森の価値に地域の人が気づく
- ・広い森林をもっていることを認識
- ・農業・林業との関係

かつての姿・過去の美しい姿 歴史/妙法

- ・50年前以降の人とのつきあい方の変化
- ・30年前のコバノミツバツツジの衰退(管理放置)
- ・現在のナラ枯れ・シカの食害

時間軸をもって考える

悪いサイクルを断ち切る

まるごと守る・保全する視点

- ・ひとつの問題解決のために、新たな問題が生じない留意が不可欠 ★人とひと ★人といきもの ★人と環境
- ・いきものが循環しやすい形
- ・それぞれの関連性を把握した対応

多角的視野から

- 人の目線・生きものの目線 両方に良い＝美しい景観
- 美しい・貴重な生きものだけでなく、普通の種 & 気持ち悪いと言われる生きものも保全する視点
- 建物・農地・山がつながる土地利用

生きものとの共存 自然との共生・再構

広域的・総合的環境問題の入口の役割を担う場としてのあり方

10年後・50年後の森林の姿を考える

戦略的に動くシステム

対策の必要性を周知

- ・捕獲・柵設置などの必要性
- ・森林手入れの必要性 など
- ＝生態系の危機への対応

効果的PR

フラットフォームの機能・充実

集う場

人と情報が集まる

- ★データや資料の集約 Face to face で情報が集まる
- 写真記録
- 調査のイベント化
- ★豊かなコミュニケーション
- ★様々な得意分野の人
- やりたいこと、意見を出しやすい
- 誰かと話すことで繋がる

インフォメーション 情報発信・共有

ニーズを把握・役割分担

コーディネート・提案

大学・研究者との連携

- ★調査・捕獲・防鹿・周知
- ★地域・愛護団体・議員・行政

調整役・事務局(長)の重要性 「場」を知る人によるリーダーシップ

- 資金調達できる
- ネットワークに網をかける
- 方針を整理し発信する

組織化へ

地域ぐるみで取り組む

小学校とともに地域住民の核を(つながりを)

- 自慢できるまち
- 皆でやればできることを(人海戦術)
- 地域の満足度向上
- 若いひとから大人まで 一緒に

ネットワークの網掛け・拡大

・アジェンダ 21 フォーラムのような取り組みを！

行政との連携

バックアップ

★活動の
オーソライズ

★公園部分
は行政の力も

- ・地域生物多様性保全活動支援事業 など すすめられるよう…

緊急対策への理解・提案

★森の基盤をまもる

- 実生の保護
- 地表の安定

★シカ制御は適正頭数を

- シカも適正に生息できる宝が池の実現

★専門家の見解・意見を聞いて動く

★食文化としてのシカ利用見直す

- 捕獲の協力
- 愛護団体との相互理解
- 食害からの保護方策検討
- 柵づくりやおいだし

★シカにとって居心地悪い場所へ ★人の気配を増やす ＝既存園路の活用

- 気持ち良い散策道。クイズ設置・参加型マップづくり
- 観察会などの増加・学生の参入を促す

美しい植生景観・ツツジの森

シカ・野生生物とのつきあい